

第2回高知県森林整備加速化・林業再生協議会の概要

場所：北庁舎3F 第一会議室

日時：平成21年9月1日（火）10：00～12：00

出席者委員：戸田委員長 北岡副委員長 井上委員 嶋崎委員 石田委員
小嶋委員 小田委員 安岡委員

事務局：林業振興・環境部長 林業環境政策課長 森づくり推進課長
林業改革課長 木材産業課長 企画担当チーフ等

オブザーバー：安芸林業事務所長 中央東林業事務所長 嶺北林業振興事務所長
中央西林業事務所長 須崎林業事務振興課長 幡多林業事務所長

1 開会

【戸田委員長】

政権交代という新たな新軸が目の前にあるが、林業は長期的・継続的な事業であり、常識のある国会運営がなされることを大前提に、委員会としての務めを果たしていかなければならない。短い時間にはなるが積極的に審議をし、適切な提言ができるように協力していただきたい。

2 林業振興・環境部長挨拶

政権が交代したということで、来年度予算については概算要求を見直すという話も出ているし、基金についても不透明な部分があるとは思っている。しかし、林業についてはやるべきことは粛々と行っていくという考えである。委員の皆様にはご協力いただきたい。

3 議事

議事1 森林整備加速化・林業再生基金事業計画の検討について

林業環境政策課長：資料1の説明を行う。

【井上委員】

林業の高性能労働機械等の導入について事情を知ってもらいたいので説明する。

林業高性能機械で当初金額が多かったのは、森林組合系の額が多かったのではない。素材生産連系列で林業機械の導入について要望が多額だったのには理由がある。森林組合系では「森の工場」作りなどの関係上、7割程度の補助で機械が入ってくる。民間の林業機械については約3分の1の補助しかない。今回、国が初めて3割から5割に増額した。なおかつ、県が1割作り、通常より倍の約6割の額がつくということで、大半の方から要望

があったと思う。

杉の値段も下がり苦労している。計画通りに機械が導入されたときに可動がまわるか疑問を持っている。民間が導入する際にも県に2割の継ぎ足しを検討していただきたい。

あとは、35億円を全額執行するようにして頂きたい。

【北岡副委員長】

当初、1260億円のうち高知県に40億円が割り当てられる話であったが、結局は35億円となっている。1260億円はすべて配分されたのか。

【林業振興・環境部長】

各都道府県に、国が1260億円を配分することを考えている。若干、残っている部分はあると予測している。政権交代があったことから、こういう基金については22年度、23年度については見直しという可能性もあるということで危惧している。

1200億円のうち余りがあれば県としても積極的に働きかけ、補助金の確保に努めていきたい。

【北岡副委員長】

事業は、そのまま35億円の予算でやるのか。それとも、1～2億円を新たに追加してほしいという熱意のもとで進行するのか。その辺りはどうか。

【林業振興・環境部長】

今後、間伐の方は別途、公共事業で積んでいただける。

また、国が別途の間伐事業を受け入れることで、加速化について1億4千万円を間伐事業から川下にスライドすることになっている。

【林業改革課長】

先ほどの話を補足する。別途の公共事業は未整備森林緊急整備事業といい、1億4千万円いただけることになっている。これにより、加速化の1億4千万円の中の1億円を川下対策に回し、要望が大変多く上がっている作業道に4千万をまわしている。

【北岡副委員長】

そういうものがあるなら活用してほしい。

当初に要望したはずの113億円より、遥かに減額されているのはなぜか。

【林業改革課長】

当初の113億円は要望金額であるが、間伐金額をベースにすると、35億円という金

額に林野が算定したようだ。

【林業振興・環境部長】

間伐の金額は13億5千万円。これが、事業費全体の約4割と決められていた中で、35億円という数字は標準的だと考えている。前は、30～40億円の間になるだろうと話をした。追加でお願いはしたが、それ以上は今のところは増えない、という話だったので35億円で実行する。今後、追加の話があれば積極的に働きかける。

【石田委員】

予算の額が徳島県は42億円で、高知県は35億円だ。山の面積や状況を考えると、高知県のほうが金額は必要だと思う。その差が出た原因の分析はしているのか。

【林業振興・環境部長】

山の面積自体は高知県の方が多いが、徳島県の方が間伐の申請事業量が圧倒的に多い。高知県は35億円が限度だろうということで目標に対しても身の丈にあった申請にしている。情報としてはそういう話を聞いている。

【北岡副委員長】

40億円の内示が出たものだと記憶していたが・・・。

【林業環境政策課長】

30～40億円と話していたはずだ。

【北岡副委員長】

当初は113億円の予算を要望していたのに、なぜ35億円ということになったのか。

【林業環境政策課長】

当初は調整せずに全額出そうという考え方のもとに承認を頂き、全額で申請を出させていただいた。国がそれを受けて内示をしてくるのでその間での調整はあり、調整幅が30～40億円の間だという説明をしたと思う。8月20日に、各都道府県に対して国の方から内示があり、高知県には35億円という数字がきた。

当初は、要望していた113億円のうち、21年度については15億円を要求していた。それが、今回の内示で113億円から35億円になったので、現年は経済対策と言うこともあり、できるだけ事業化し、22年度、23年度をおとさせていただいた。結果、21年度については当初の要求額15億円の83%という形となった。本来であれば3割ずつで全体をやるのだが、前倒しという形で整理をしている。

【北岡委員長】

21年度は10億円くらいを目処にということであれば少し多いが問題ないか。

【林業環境政策課長】

問題ない。

【北岡副委員長】

全体が35億円という中で時期については問題ないか。

【林業環境政策課長】

問題ない。

【嶋崎委員】

林内路網整備について、当初は63億円ということで期待していたが10億円になっているとのこと。間伐の方は13億円から12億円で実行する計画だが、間伐と林内路網整備はリンクしていないのか。当初、13億円の間伐をするにあたって60億円の路網整備がいるという考え方ではなく、間伐は間伐、路網整備は路網整備というような考え方なのか。

【林業改革課長】

当初、林内路網整備は間伐とリンクしていなかった。今回35億円ということになったので間伐をするための路網整備であるという意味で絞り込んだ。

路網整備の中で、すべて間伐を実行するということが前提の計画を出していただき、優先順位をつけて計画している状況。当初計画も間伐がまったくないということではないが、間伐の実行を優先して、連携した形のを優先し間伐・路網として10億4千万円にした。

【戸田委員長】

県の部局においても一定の精査をした上で、35億円ベースでの計画を組み上げてセッションしてきたと思うが、少なくとも35億円を確保するために努力していただきたい。

議案第一号は終結し、続いて議案第二号を議題とする。

議事2 森林整備加速化・林業再生基金について

環境政策課長：資料2-1と2-2の説明について説明を行う。

【井上委員】

利子助成については数字があがっていないが、誰も借りていないということか。借りた人もいると思うのだが。わたしのところも2、3照会したが結局申請しなかったようだ。他県もあまり申請していないのか。

【木材産業課長】

当初は2、3件あったが、制約が多く最終的には形になっていない状況。徳島県は少しあるようだが大きなものではない。最初は難しいだろうと思う。現在要望がないので絶対とらない、というわけではなくこれから様子をみながら考えていきたい。

【井上委員】

本人から申請があればいつでも残高に対して借り替えるというメニューのようだが、なかなか現実には事務手続がややこしいようだ。

【木材産業課長】

素材生産量のうち間伐材の部分がどれだけかと言われると内訳が難しい。

【井上委員】

農林中金は間伐材を出すとは言ってない。林業すべてが対象になると言っているのだが。里山再生対策もできれば0でない方がいいのではと思う。要望がないのかもしれませんが里山対策の方も検討していただきたい。

【戸田委員長】

政権交代が現実の目の前にあり、われわれとしても不安がある。その部分を突破し、35億円の予算確保の面に重きを置いて努力をしていただきたい。

資料2-2について各課長が内容の説明を行う。

【小田委員】

臨時職員の人数と期間は。

【林業環境政策課長】

1名で3月31日まで、保険料等込み。

【石田委員】

高性能機械等導入事業について、この事業で導入された機械は高知県内で使えるというのが原則か。

【木材産業課長】

もちろんそうになっている。

【北岡副会長】

木質バイオマス関係はハウスということだが、すべてペレットか。

【木材産業課長】

そうだ。

【北岡副会長】

木造公共施設等整備について木造施設は4棟とあるが、木材業界として事業者にアプローチすることはできるか。

【木材産業課長】

入札という形になる。

【北岡副委員長】

県産材料を使うという話はでているのか。

【木材産業課長】

事業主体が市町村の場合は、優先的に地元材を使うことは条件になっている。

【小嶋委員】

地域部会の役割は。

【事務局】

地域部会から要望を挙げて県で調整したものが協議会にかかってくる。事務局で調整をかけたものを協議会で議論し、再度調整するという形になっている。

4 閉会

【戸田委員長】

委員の皆さまからはさまざまな意見をいただきありがとうございました。今後も委員の在り方については意見を聞きながら決めていきたい。